

# 様々な体型に適合するバレエレンタル衣装の提案

川本 佳奈

[指導教員：武庫川女子大学教授 山本 泉]

キーワード：クラシックバレエ，レンタル衣装，機能性，サイズ調整

## 1. 研究背景と目的

クラシックバレエは美しく華やかな踊りで多くの人々を魅了している。そのクラシックバレエに欠かせないのが衣装である。衣装から審美性だけでなく、キャラクターイメージを伝える役目も果たしている。

筆者がバレエ衣装の機能性に着目したのは、発表会などで着用される衣装の多くがレンタル衣装である事だった。それは、1回の本番につき教室全体で数十着と必要になるため、オーダーメイド品にすると膨大なコストがかかる現状から安価なレンタル品が選ばれている。

レンタル衣装は、自分自身の体型に適合していないことが多く修正を加えなければならない。サイズが適合していないほど、見栄えや踊りやすさに影響を及ぼしてしまう。お客様の前で披露する衣装は美しさと踊り手が100%のパフォーマンスを発揮できる衣装であるべきだと筆者は考える。

現在では多くのバレリーナがレンタル衣装を使用している。美しさ・華やかさを損なわず、どの人の体型にも適合し、踊り手が最高のパフォーマンスを発揮できる衣装を提案することを本研究の目的とする。研究は、衣装のフィット性と見栄えに重点を置いて進め、聞き取り調査を行ったのち、バレエレンタル衣装の現状を把握し、新しい形の衣装を提案する。

## 2. クラシックバレエについて

### 2-1 クラシックバレエとクラシックチュチュ

トウ・シューズを履いて踊るダンスの総称として用いられるが、狭義には、フランス人振付家マリウス・プティパが19世紀末にロシアにおいて確立した様式を指す<sup>1)</sup>。この様式が今日のクラシックバレエの原型である。技の発展から「クラシックチュチュ」が生まれた。この衣装にすることで活動範囲が増え、バレリーナの足の細やかな動きが見ることができるようになった。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『白鳥の湖』の世界3大バレエはこの時代に生まれ、今現在に受け継がれている。

### 2-2 クラシックバレエの衣装と練習着

クラシックバレエの衣装は大きく4種類に分かれる。ハリのあるチュールスカートが特徴的な「クラシックチュチュ」、ワンピース型で膝下まで丈のある「ロマンチックチュチュ」の2つが多く使用されている。クラシックチュチュからチュールスカートの張り具合を落ち着いた「ベル

チュチュ」、ロマンチックチュチュより柔らかい生地を使用し、ボリュームを抑えた「ジョーゼット」がある。衣装のデザインは演目や演出によって決まる。

練習着としてデニール数の高いタイツに「レオタード」を着用し、タイツの上から靴を履く。レオタードは、伸縮性の高い素材を使用した生地できているとあり、体のラインがはっきりわかるようなデザインのもが主である。



左から 図1 クラシックチュチュ 図2 ロマンチックチュチュ  
図3 ベルチュチュ 図4 ジョーゼット

## 3. 聞き取り調査

### 3-1 レオタードと衣装の感覚の差異

これまでにクラシックバレエを習ったことのある男女、又現役で活躍されている10～40代男女40名を対象に練習着「レオタード」とバレエ衣装でどちらの方が踊りやすいか調査を行った。この調査から、感覚に個人差があるが、普段着慣れたレオタードと衣装は素材やデザインが大きく異なることから感覚の差異が生まれていることがわかった。

### 3-2 衣装着用時の踊りの種類別で気になる点

3-1と同様の人を対象に、踊る際に多く使われる「跳ぶ」「回る」「足を上げる」の3項目において2-2で挙げた4種類の衣装着用時に気になることを調査した。この調査から、踊りごとで気になる箇所が挙がったが、特にクラシックチュチュにおいてサイズがあっていないことが起因している点がいくつか見つかった。

クラシックチュチュ型は、サイズが適合していないほどチュールの重厚感から体に負荷がかかる、チュールにかかる遠心力が大きくなるなど影響を及ぼしていた。しかし、レンタル衣装というものは自分自身の体型にぴったり合うものはほとんどないためサイズ調整を行う。しかし調整には限度があり、サイズが適合していないほど機能性・見栄えに関して気になる点が増える現状がわかった。

これらの調査から、レンタル衣装のサイズ感とクラシックチュチュの形がフィット性・見栄えに影響を及ぼしているのではないかと考えた。

#### 4. バレエレンタル衣装サイズ調整における問題点

バレエ衣装をレンタルする際、基準となるのが身長である。

バレエレンタル衣装にも既製服と同じようにサイズ展開があり、衣装会社によって異なる。JIS【日本工業規格】成人女性サイズ表示<sup>2)</sup>では、日本人成人女性の平均身長である158cmに対応するサイズはAR表記<sup>2)</sup>で10サイズあるが、バレエ衣装会社のサイズ展開では2~3つであり、バレエ衣装のサイズ展開は少ない現状が明らかとなった。

サイズ調整では、ボディ部分で体のラインが綺麗に出るよう新しい「ムシ」と呼ばれるホックかけを付ける。この作業をする際に、サイズが大きい時ほど既存よりボディの重なる範囲が大きくなる。クラシックチュチュのチュール部分はボディと繋がっているため、チュールでも重なる範囲が増えてしまう。その結果、この部分で波打つ現象が起り、見栄えに影響を与えていることがわかった。



図5 チュチュスカート波打ち現象

#### 5. 制作

クラシックチュチュにおいて、ボディとチュチュスカートが繋がっていることが原因でサイズ調整の際に波打つ現象が起っていたので、「セパレート型」を2種類提案することにした。

1つ目は、体のラインに最も綺麗に沿うのはゴムと考え、チュチュスカートのあきを無くし、ウエストにゴムを通すことでチュチュスカートの円を美しく保つことが可能になると考えた。一方、ウエスト部分もヒップ寸法分必要になるため、着用時チュチュスカートボディに多数のしわができるため被せ型ボディを制作し、しわ部分を隠す設計にした。(図6参照)

2つ目は、あきありでボディがレオタード型になった衣装である。レオタードと衣装で感覚が異なるという意見を基にレオタード型にすることで、練習時と変わらない感覚で踊ることが可能になり、見栄えにも美しいデザインが実現できると考えた。(図7参照)



図6 あきなし衣装



図7 あきあり衣装

あきなし衣装でもレオタード型を考えたが、その場合、ボディから着用になるため、今回ボディ下端に付けた花形布をウエストの位置から付けることになるが、人によってウエストの位置が異なるため、ウエストの位置に合わせるのが難しいと判断し、被せ型ボディを提案することにした。

#### 6. 試着と聞き取り調査

あきなし衣装をA、あきあり衣装をBとして13~22歳150cm台の女性5名に試着及び聞き取り調査を行った。2曲踊ってもらい、それぞれの衣装で見栄えと機能性に関して気になる箇所を挙げてもらった。

Aの衣装では、踊っているとボディが上がり、チュチュスカートボディが見えてくるなどの意見が多数挙がった。ボディ下端にベルト芯とボンテープを使用し、その人の体型に沿うように変形させる案を講じたが、スナップのような点での固定ではなく、面で固定できる方法など、ボディとチュチュスカートを留める方法を見いだす課題が生まれた。見栄え面では、チュチュスカートの円形が体型に関係なく美しく出た。一方、Bの衣装では、踊っていても気にならない、激しい動作をしても抵抗感なく踊れたという意見が多く挙がった。普段着慣れているレオタードの感覚に近いことで、踊りやすいと感じたのだろう。一方、サイズ感が大きい人は波打つ現象が少し見られた。

#### 7. 総括

本研究では、バレエレンタル衣装の機能面を重要視し進めてきた。セパレート型衣装を2種類提案したが、実際に着用し踊ると様々な意見を得られ改善点が見つかった。

今回提案した衣装は機能性を重視したが、この衣装を実際のクラシックバレエの演目で使用するとした場合、どんなデザインにするか、どのデザインならば実現可能か引き続き研究に励みたい。また提案を通し、バレリーナを夢見る方々が限られた舞台上で練習の成果を発揮できる、その支えになる衣装になれば嬉しく思う。

#### 注釈及び参考文献

- 1) 鈴木晶：知恵蔵，株式会社朝日新聞出版，2007
- 2) 一般財団法人カケンテストセンター成人女性サイズ表，<https://www.kaken.or.jp/learn/detail/63>，(2019/12/09)
- ・チャコットレンタル衣装サイズ表，<https://www.chacott-jp.com/shop/shibuya/blog/detail002724.html>，(2019/12/09)
- ・バレエ衣装Ecodea サイズ表，<https://www.aecoda.com/signup.php?transactionid=b665f54c21b6245d65064e9fe9f6bf0dd1e2afcc>，(2019/12/09)
- ・薄井憲二：バレエ 誕生から現代までの歴史，株式会社音楽之友社，6-21，37-93，1999
- ・Atelier YOSHINO，<https://www.atelier-yoshino.com/gallery-ballet01/> (2020/11/28)